

報告事項

第83期 事業報告 および 連結計算書類等 報告の件

平成27年6月23日
NECネットエスアイ株式会社

第83期(平成27年3月期)事業報告

マクロ環境(国内)

- **政府の経済対策や金融政策などを背景に、企業収益、雇用情勢に改善が見られるなど、緩やかに回復**

ICT市場

- **分野毎の濃淡はあるも、全体的に堅調に推移**
 - **一般企業向け** : 景気回復を受け、ICT設備投資が回復
 - **通信事業者向け** : 移動体基地局を中心に設備投資は厳しい状況
 - **官庁自治体向け** : 安心・安全をテーマとしたICT投資は活況

第83期 業績サマリー(連結損益計算書)

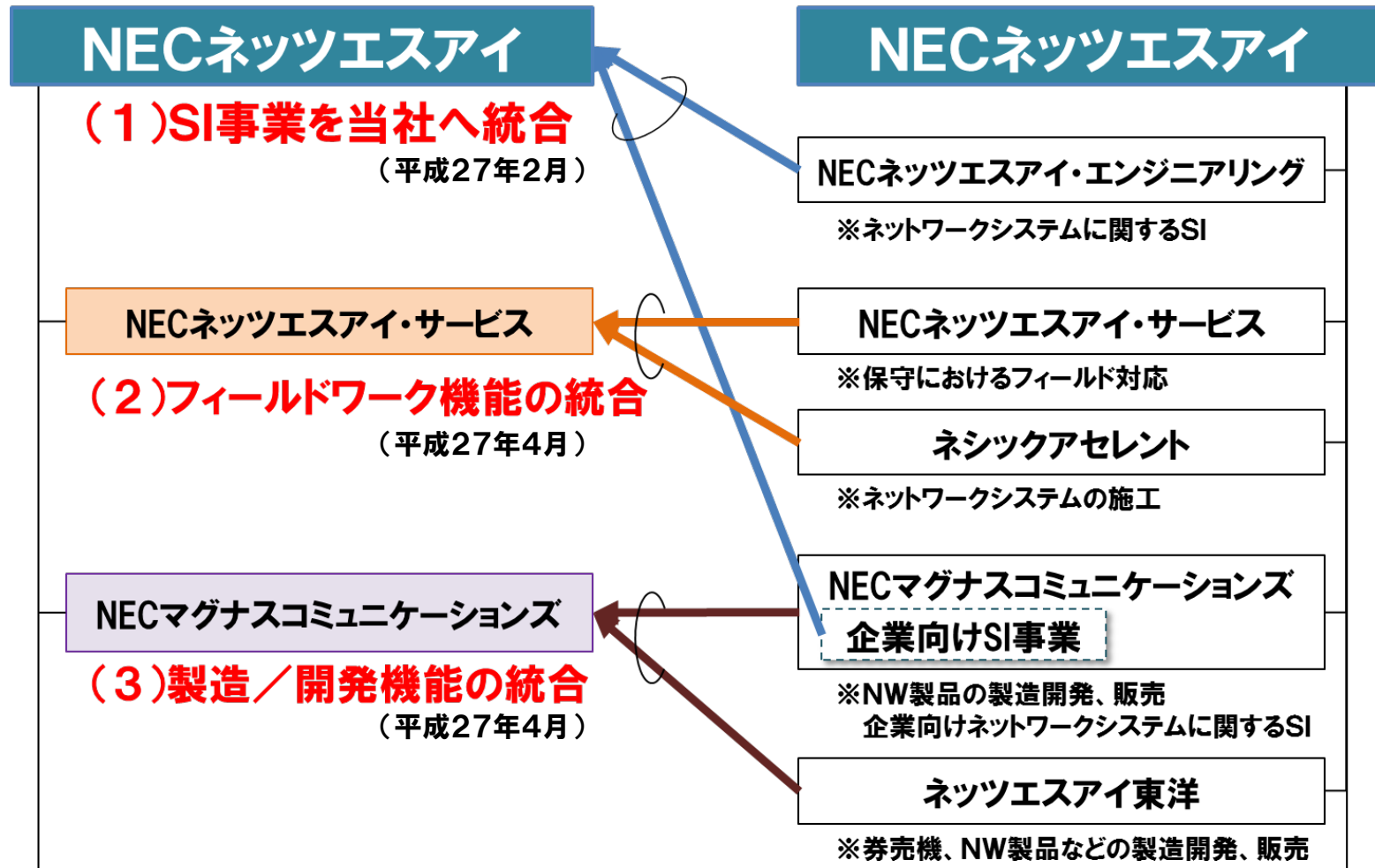
売上高、営業利益、営業利益率で中期経営目標を1年前倒しで達成し、過去最高を更新

- 当期純利益は、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しおよび子会社再編に伴う事務所統合費用等の特別損失により前期比減少

	第82期	第83期	前期差/比	(単位:億円)
受注高	2,801	2,991	+7%	
売上高	2,703	2,922	+8%	
営業利益	144	162	+17	
(営業利益率)	(5.3%)	(5.5%)	+0.2pt	
当期純利益	83	78	△5	
(当期純利益率)	(3.1%)	(2.7%)	△0.4pt	
R O E	9.6%	8.7%	△0.9pt	
フリー・キャッシュ・フロー	178	△15	△193	

国内子会社の再編成について

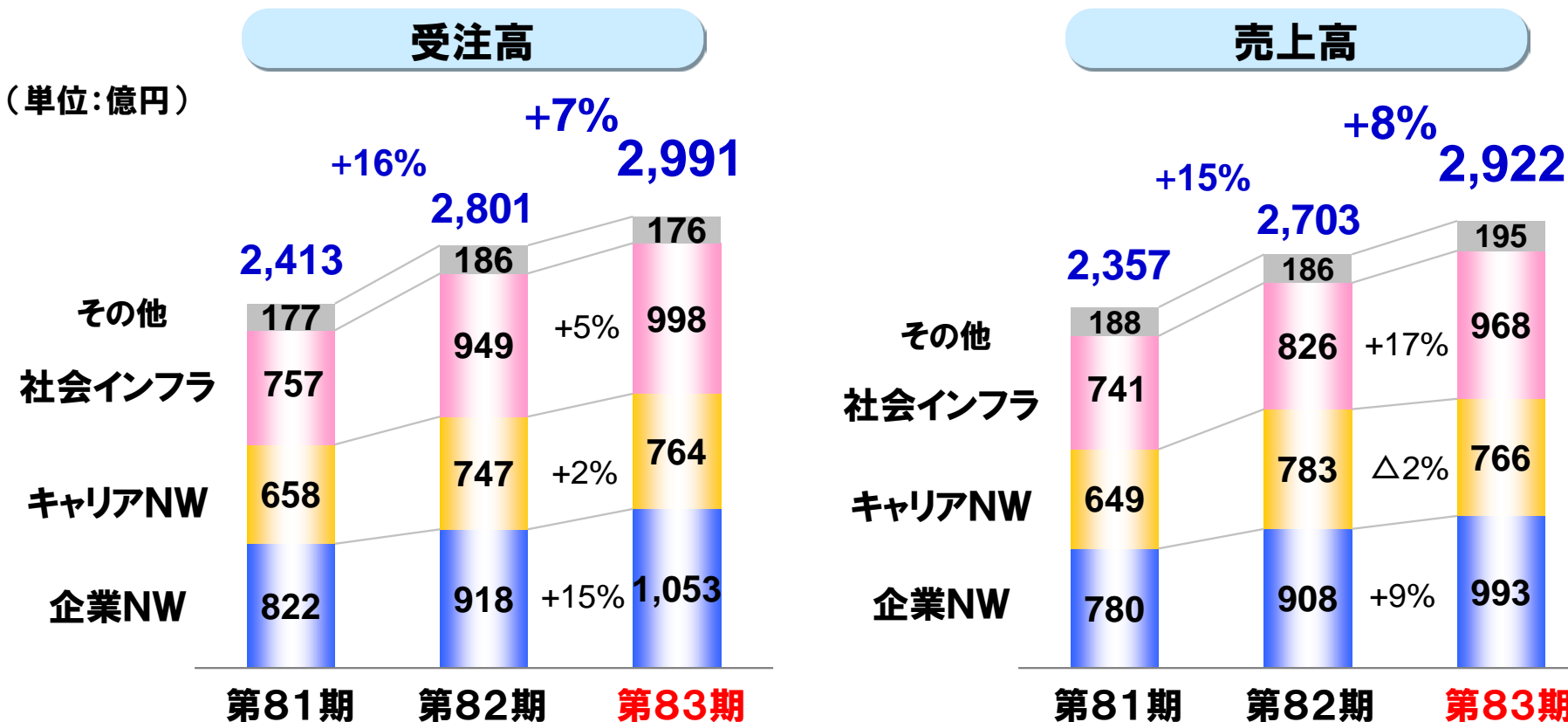
機能別に整理統合し、グループ経営の効率化を図る



セグメント別受注高／売上高

企業NW、社会インフラが好調に推移し、 受注高・売上高拡大

- 企業のICT投資回復、消防・防災システム事業拡大、前期M&Aの効果
- キャリアNWは通信事業者投資抑制の影響で減収



企業ネットワーク事業

情報通信(ICT)とオフィスデザインを融合させた働き方改革などのオフィス向けソリューションを提供

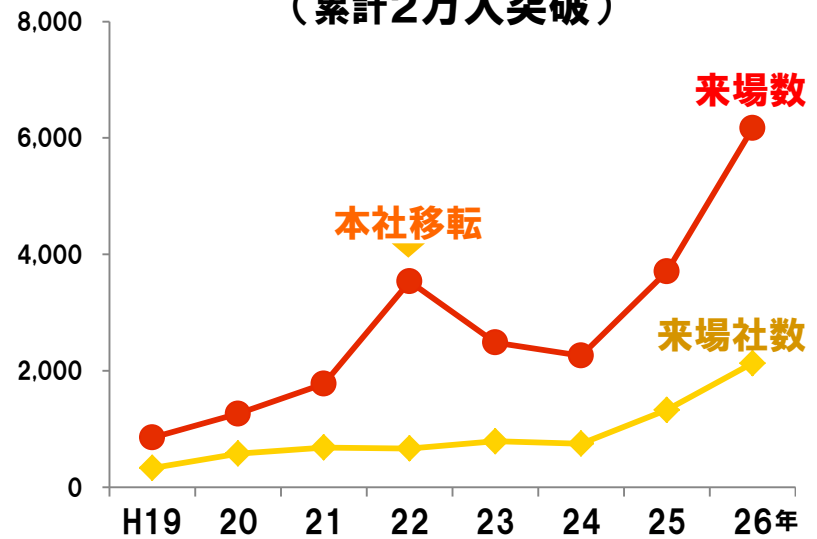
～EmpoweredOffice(EO)事業～

【お客様からの評価が拡大】

・EO化オフィス活用で商談化推進

＜来社数:累計7,200社＞
(累計2万人突破)

(単位:人、社)



オフィスのムダを徹底的に削減すると同時に、**機能性・創造性・快適性**を最大限に引き出すための手法をお客様にご提案

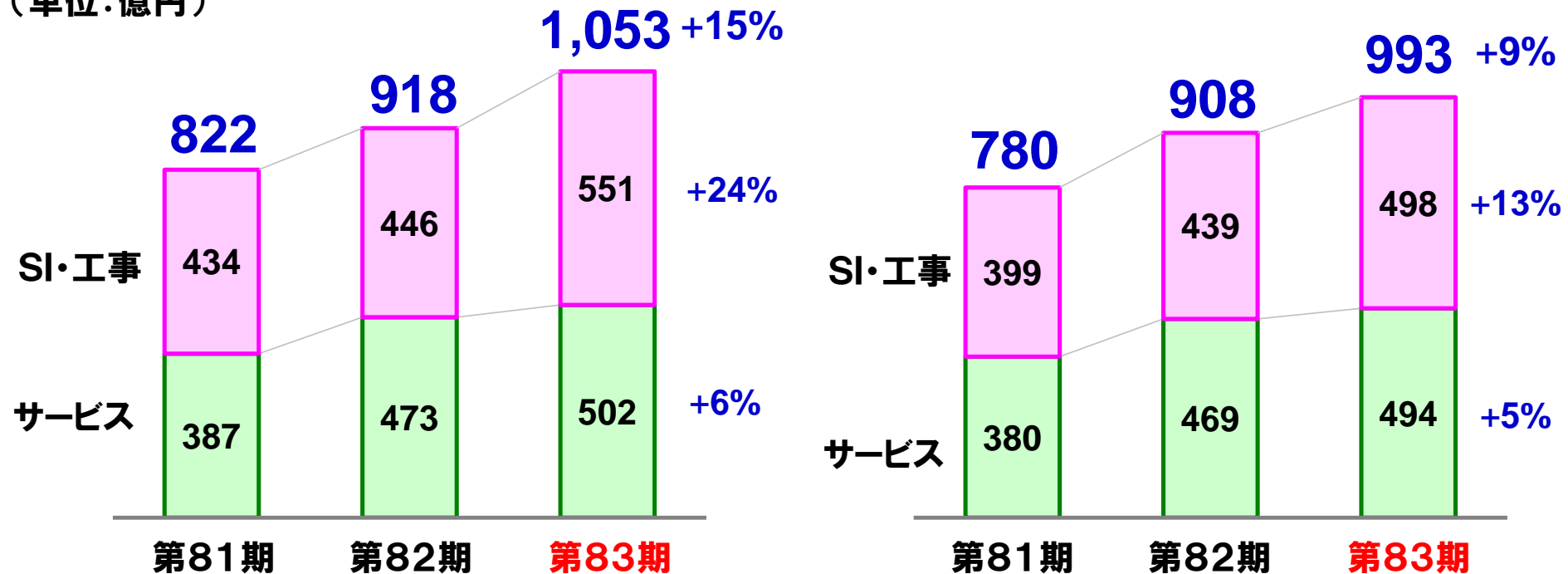
企業のICT投資回復を取込み、受注高、売上高ともに前期比大幅増加

- EmpoweredOffice事業が好調継続(売上高: +90億円) ※キューアンドエー社含む
- ほぼ全ての業種にわたり受注高・売上高が拡大

受注高

売上高

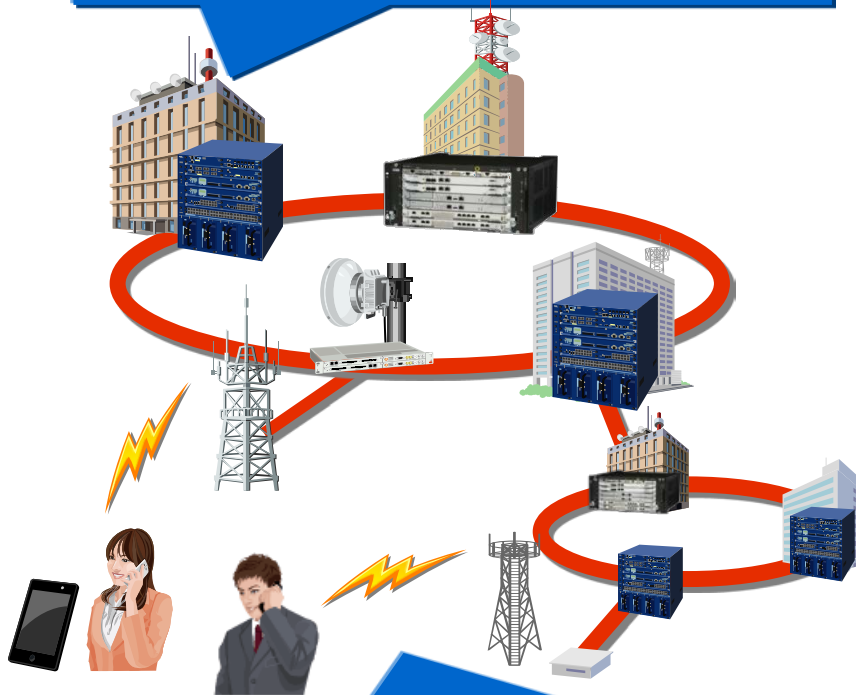
(単位:億円)



キャリアネットワーク事業

通信事業者の商用ネットワーク網構築など ミッションクリティカルなSI・サービスを提供

通信事業者基幹ネットワーク網
の構築・保守



移動体基地局の設置・保守



通信事業者向け
ネットワーク網



移動体基地局工事:屋外

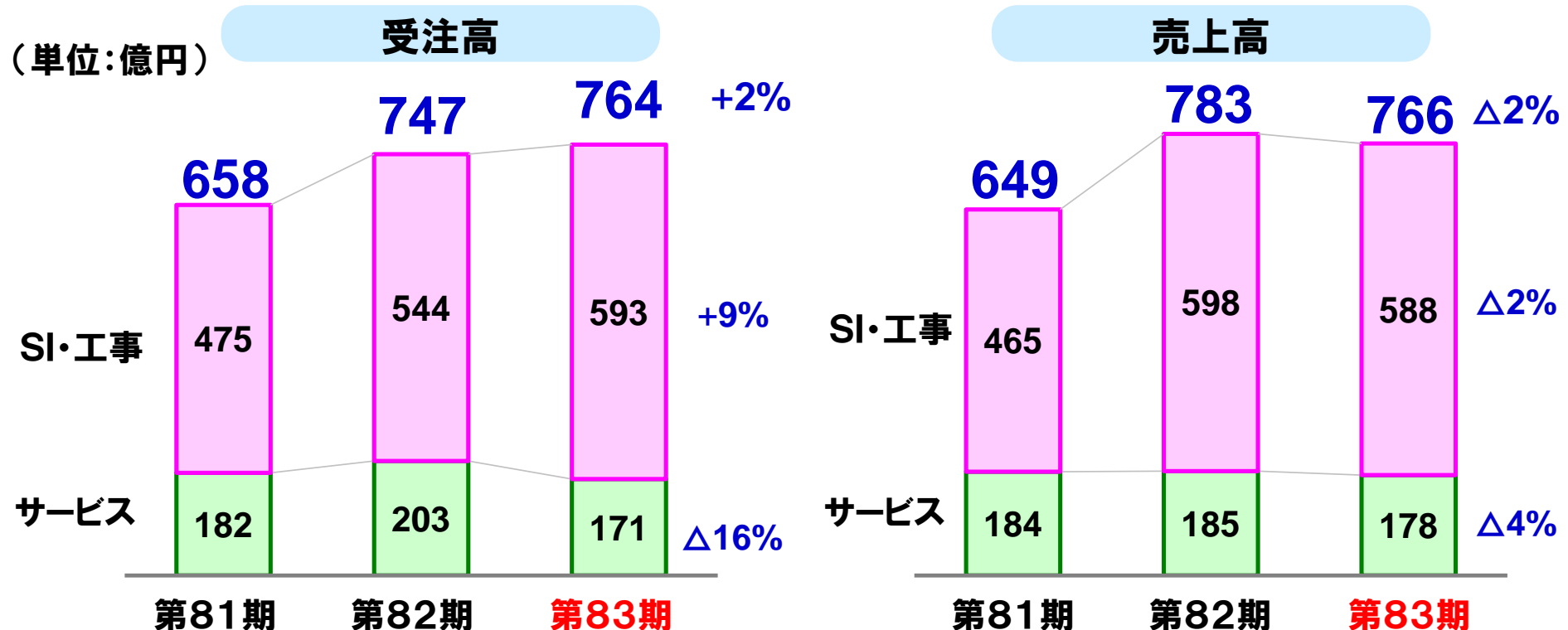


移動体基地局工事:屋内

キャリアネットワーク事業

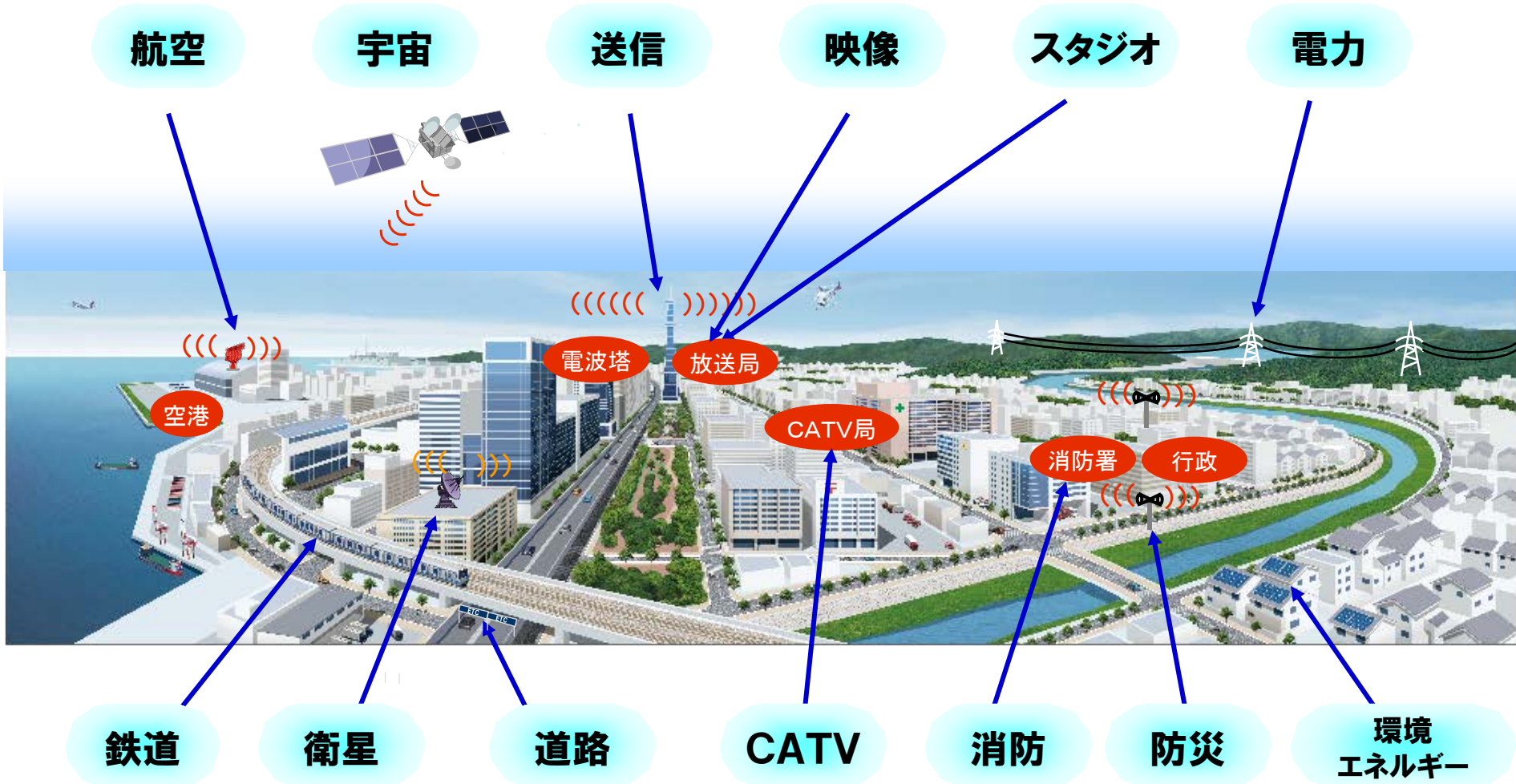
通信事業者の設備投資減少の影響を受け、前期比で売上高減少

- NECマグナスコミュニケーションズ社の連結効果(受注高・売上高: +約100億円)
- 移動体基地局事業は前年プラチナバンドの影響で減少(売上高: Δ 約20%)
- サービス事業の受注減は、長期保守案件の前期一括計上の影響



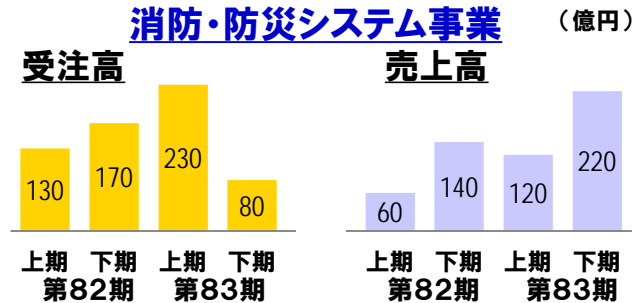
社会インフラ事業

通信ネットワークをキーワードに、日常生活の安全・安心や利便性を支える幅広い事業を展開



公共投資の増加を背景に受注高・売上高が前期比増

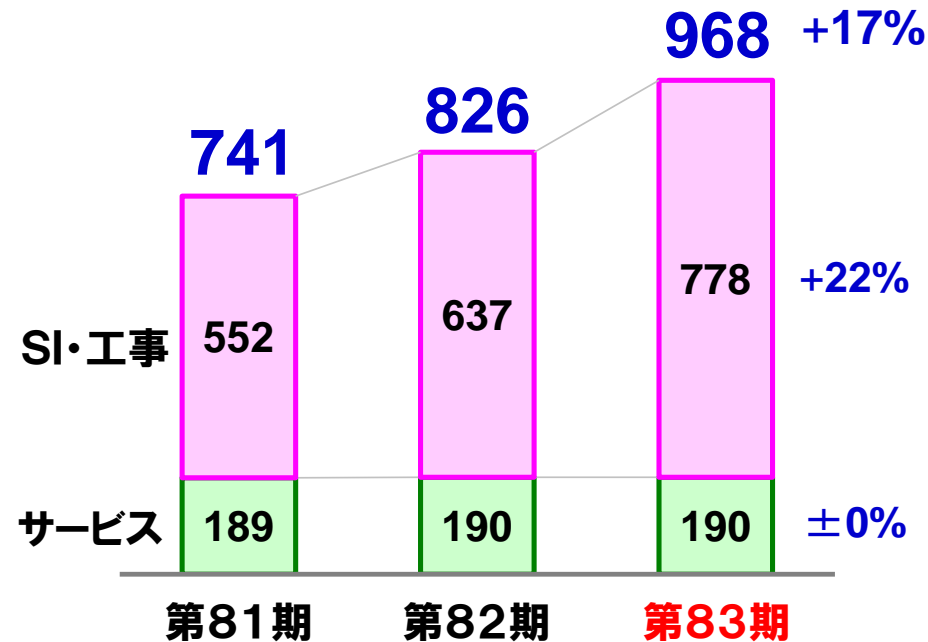
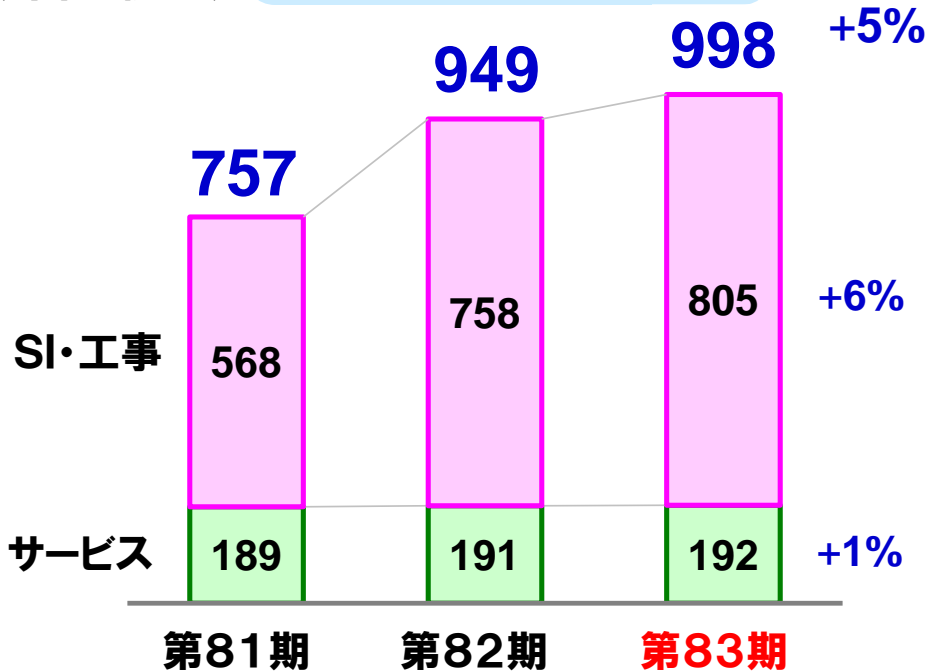
- 消防無線デジタル化プロジェクトが活況
 - ・受注は、下期に入りピークアウト
 - ・消防指令システムプロジェクトは今後も継続
- 海外インフラ工事の受注が伸長(+40億円)



(単位:億円)

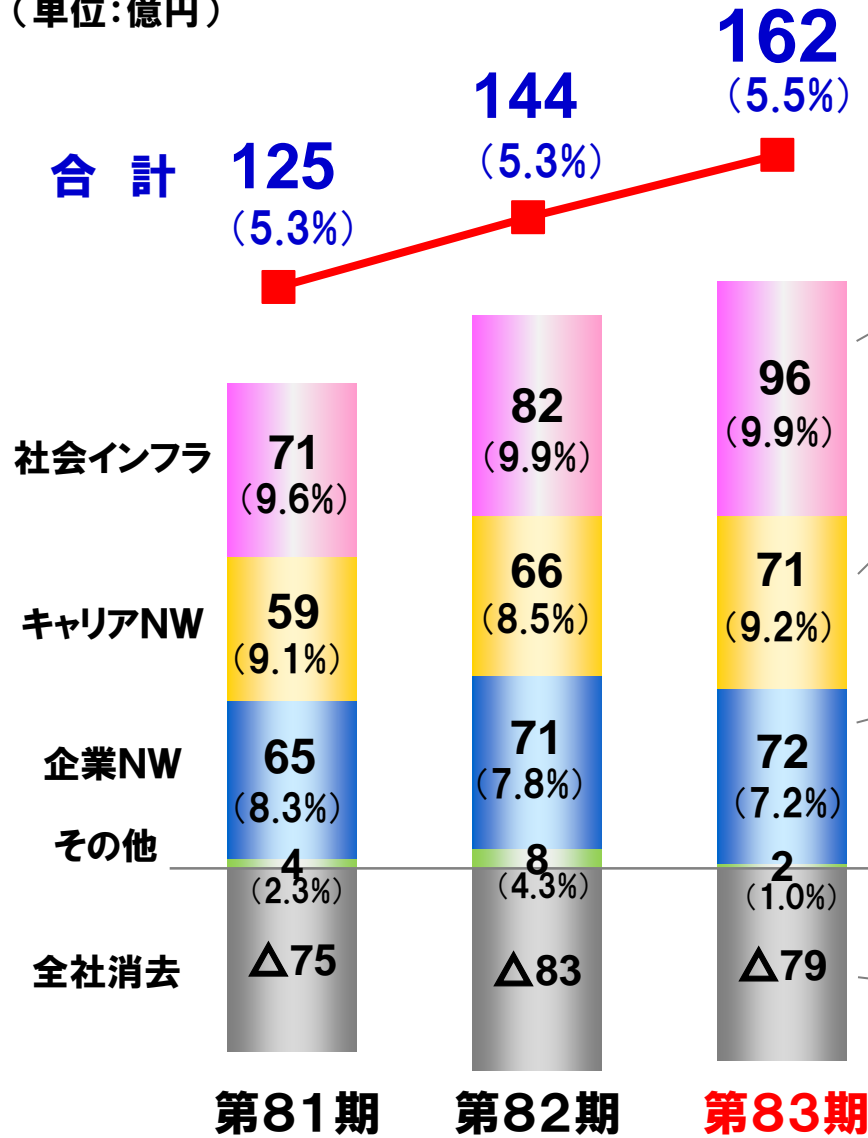
受注高

売上高



セグメント別営業利益

(単位:億円)



主要3セグメントで増益

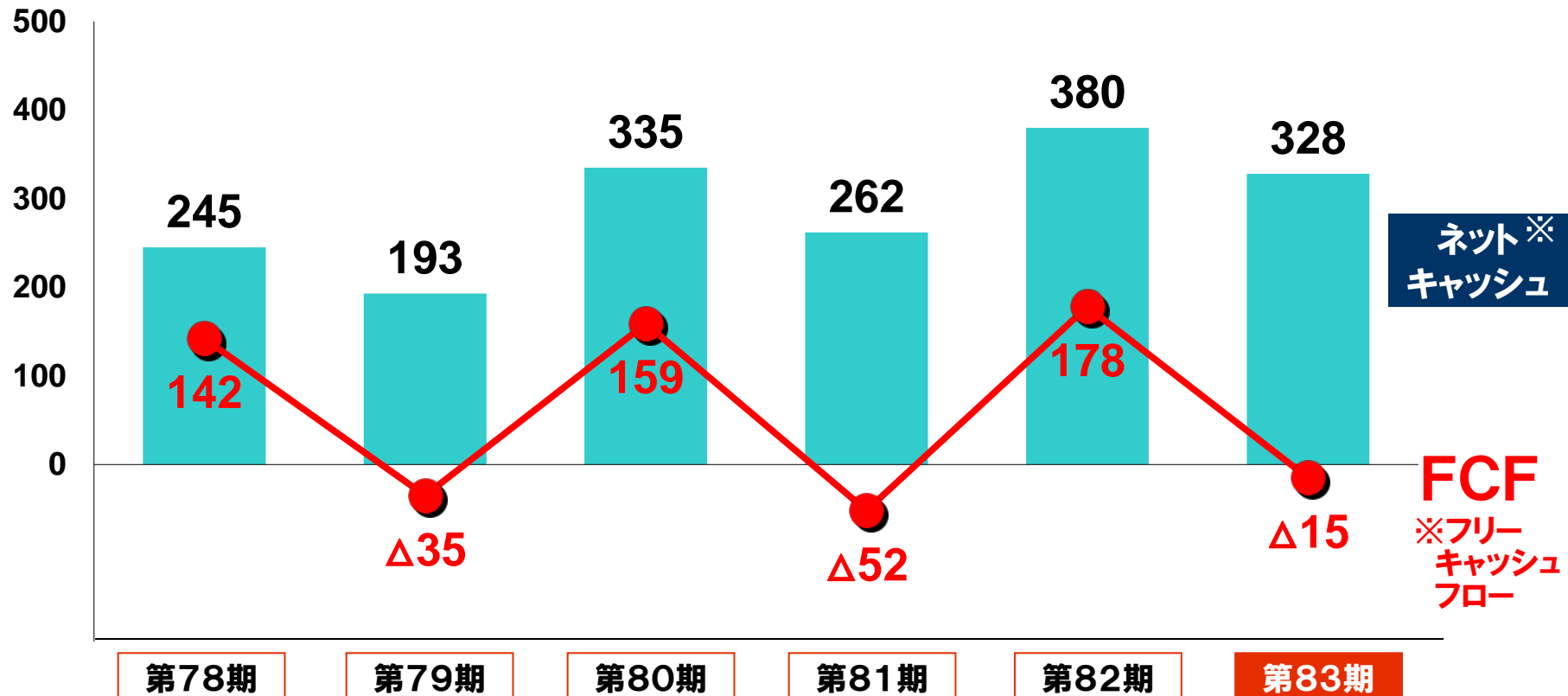
- **社会インフラ**
・売上増により増益
- **キャリアネットワーク**
・売上減も、原価率の改善で増益
・M&Aした子会社も収益貢献
- **企業ネットワーク**
・売上ミックス変化による原価率悪化を売上増で吸収し増益
- **サービス基盤整備費用が増加も
全社スタッフ費用効率化で改善**

()は営業利益率

キャッシュフロー

FCFは、入金タイミングの影響、社会インフラ案件(長工期)の増加により前年同期比減少も、成長に向けた資金は確保

(単位:億円)



※ネットキャッシュ=現金および現金同等物-借入金

連結貸借対照表(平成27年3月31日現在)

大型プロジェクトの増加に伴う期末の売掛金、たな卸資産の増加で、総資産が膨らみ、自己資本比率が0.5%低下

(単位:億円)

		第82期	第83期	増減
	現金及び現金同等物、有価証券	444	390	△55
	受取手形及び売掛金	960	1,139	179
	たな卸資産	82	101	20
	その他流動資産	88	81	△7
流動資産合計		1,574	1,711	137
固定資産合計		317	309	△8
資産合計		1,891	2,020	129

	買入債務	432	487	55
	借入金	64	62	△3
	その他負債	503	530	27
負債合計		999	1,078	79
	株主資本合計	912	944	33
	その他の包括利益累計額	△37	△19	18
	少数株主持分	17	16	△0
純資産合計		892	942	50
負債純資産合計		1,891	2,020	129

自己資本比率		46.3%	45.8%	△0.5pt
--------	--	-------	-------	--------

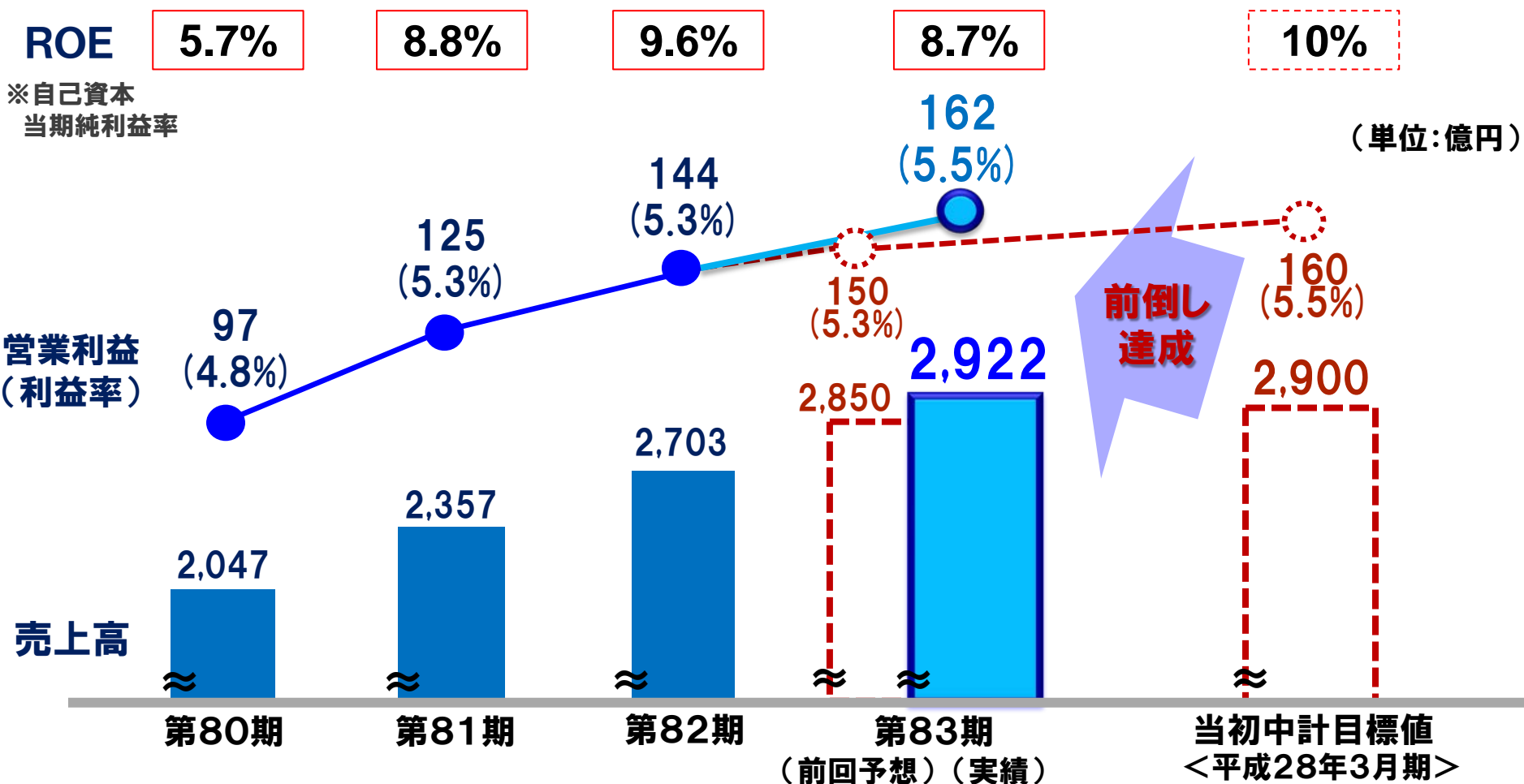
年間配当64円を実施

- 年間配当額 前期比 +4円増

	1株当たりの年間配当金		
		中間	期末
第83期	64円	32円	32円

中期経営計画の進捗状況

中期経営目標(売上高・営業利益/率)を前倒して達成



トピックス

国内市場の強化：全国拠点のEmpoweredOffice化推進

全国主要拠点のEmpoweredOffice化完了

- 最先端のICT技術を導入し、スマートフォンやタブレット端末を活用した働き方改革を自ら実践し、日本全国のお客様へ訴求を加速

EmpoweredOffice



関西支社

最新ICT活用によりモバイルワークを実現

スマートデバイスをフルに活用し、社内外を問わず、ロケーションに依存しない働き方を実現



★ 日経ニューオフィス賞
受賞済みオフィス

海外における新規成長市場への進出：ミャンマー進出

インフラ投資の急拡大が見込まれるミャンマーへ進出

- タイ法人のヤンゴン支店を開設(平成27年4月)

ターゲット市場

- ・モバイルを中心とした通信インフラ整備
- ・鉄道、道路、空港、電力等の各種公共インフラ整備 等

インフラ構築PJ
で既に受注実績



タイ法人ミャンマー支店開所式

ブランド価値向上に向けた取組み：企業広告スタート

平成26年10月1日より若手女優の逢沢りなさんをナビゲータに企業広告を展開

- テレビ、新聞、雑誌、電車内において企業広告をスタート

NEC ネットズエスアイって、 何をしている会社なんですか？

私たちNEC ネットズエスアイは、お客様のコミュニケーションを支えています。

ICTと空間デザインによって社員が活き活きと働けるオフィス。便利なスマホをつながりやすくする移動体ネットワーク。安心で安全な消防・防災ネットワーク。NEC ネットズエスアイは、さまざまなソリューションを通じてコミュニケーションの世界を支え、お客様のさらなる価値向上とよりよい社会づくりに貢献しています。

明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズエスアイ株式会社

Empowered by Innovation

NEC



NEC ネットズエスアイ株式会社
代表取締役執行役員社長

和田 雅夫



逢沢りな

Orchestrating a brighter world
世界の想いを、未来へつなげる。

CSR活動のご紹介

社会貢献活動の取組みを継続実施

● 東日本大震災 被災地支援活動

新入社員復興支援



平成24年より実施。日本能率協会
“Kaika Award2014”
特選紹介事例に選出

チャリティーコンサート



被災地進学支援の
ために初開催

東北物産展



第10回継続実施。
農林水産省より感謝状受領

● 青少年育成支援活動

南極くらぶ



南極越冬隊経験社員により、
小学校や地域イベントで
南極の氷や防寒服などの実
体験を含め、南極の生活や
自然などを出前授業

対処すべき課題

分野ごとに強弱はあるも、消費税増税による景況感低迷からの回復などにより、足元の事業環境は堅調

●企業ネットワーク

- ・景況感の回復を受け、国内のICT投資の回復基調が継続

●キャリアネットワーク

- ・通信事業者の設備投資は、基地局を中心に抑制傾向
- ・MVNOやM2Mなどの新サービス領域は活性化

※MVNO：Mobile Virtual Network Operatorの略。仮想移動体通信事業者のこと。

M2M：Machine to Machineの略。モノ(機械)とモノ(機械)がネットワークを用いて繋がり合う仕組みのこと。

●社会インフラ

- ・国土強靱化など安心・安全をテーマとした公共投資が堅調
- ・オリンピックに向けたインフラ整備投資の活性化に期待

中期経営目標を上回り、過去最高の業績を目指す

(単位:億円)

	第83期	第84期	前期差/比	中期経営目標
受注高	2,991	3,000	+0%	-
売上高	2,922	2,950	+1%	2,900
営業利益	162	165	+3	160
(営業利益率)	(5.5%)	(5.6%)	+0.1pt	(5.5%)
当期純利益	78	95	+17	-
(当期純利益率)	(2.7%)	(3.2%)	+0.5pt	-

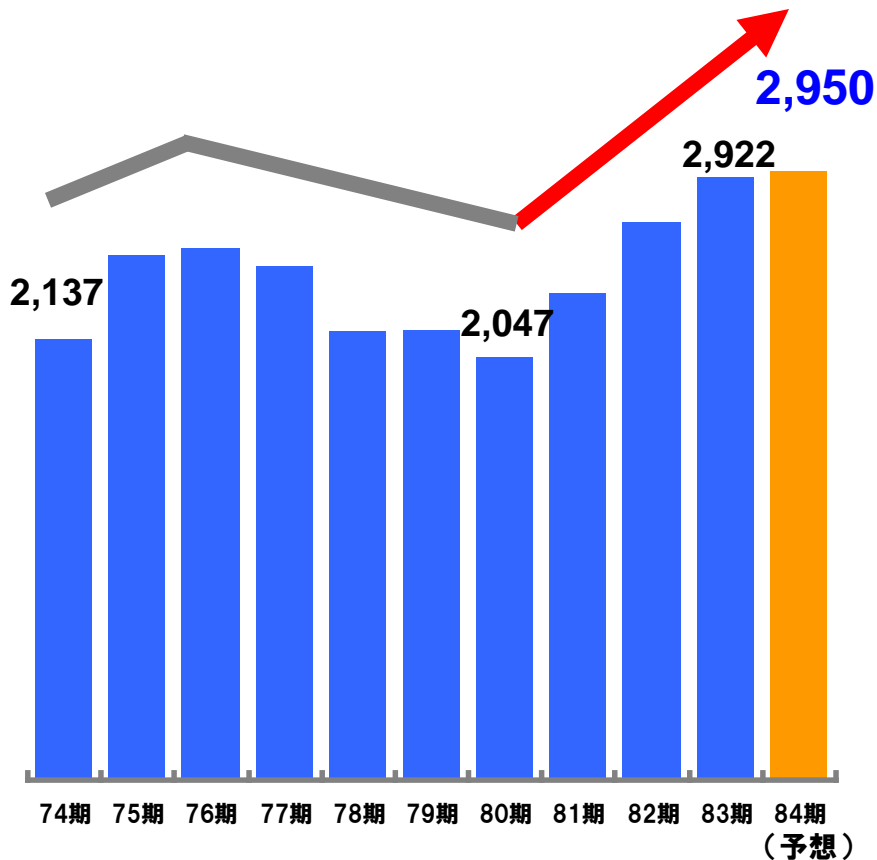
(予想値は、平成27年4月28日現在のものです。)

過去10年の業績推移(売上高・営業利益)

(単位:億円)

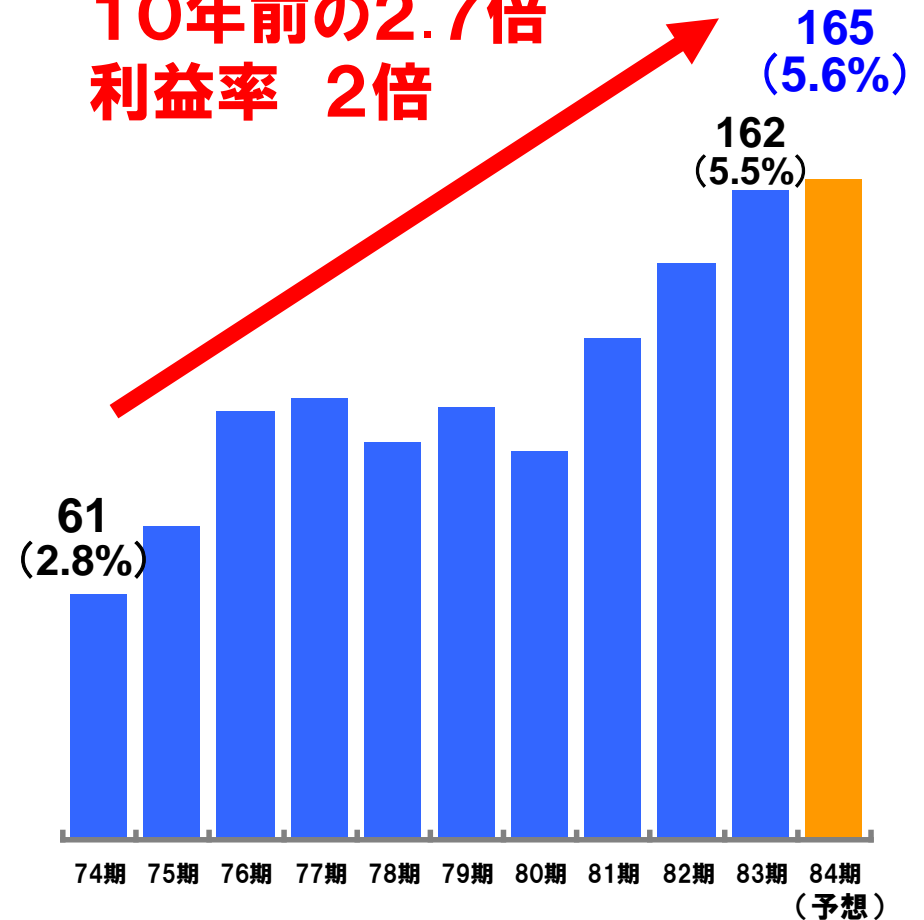
売上高

再び成長軌道へ



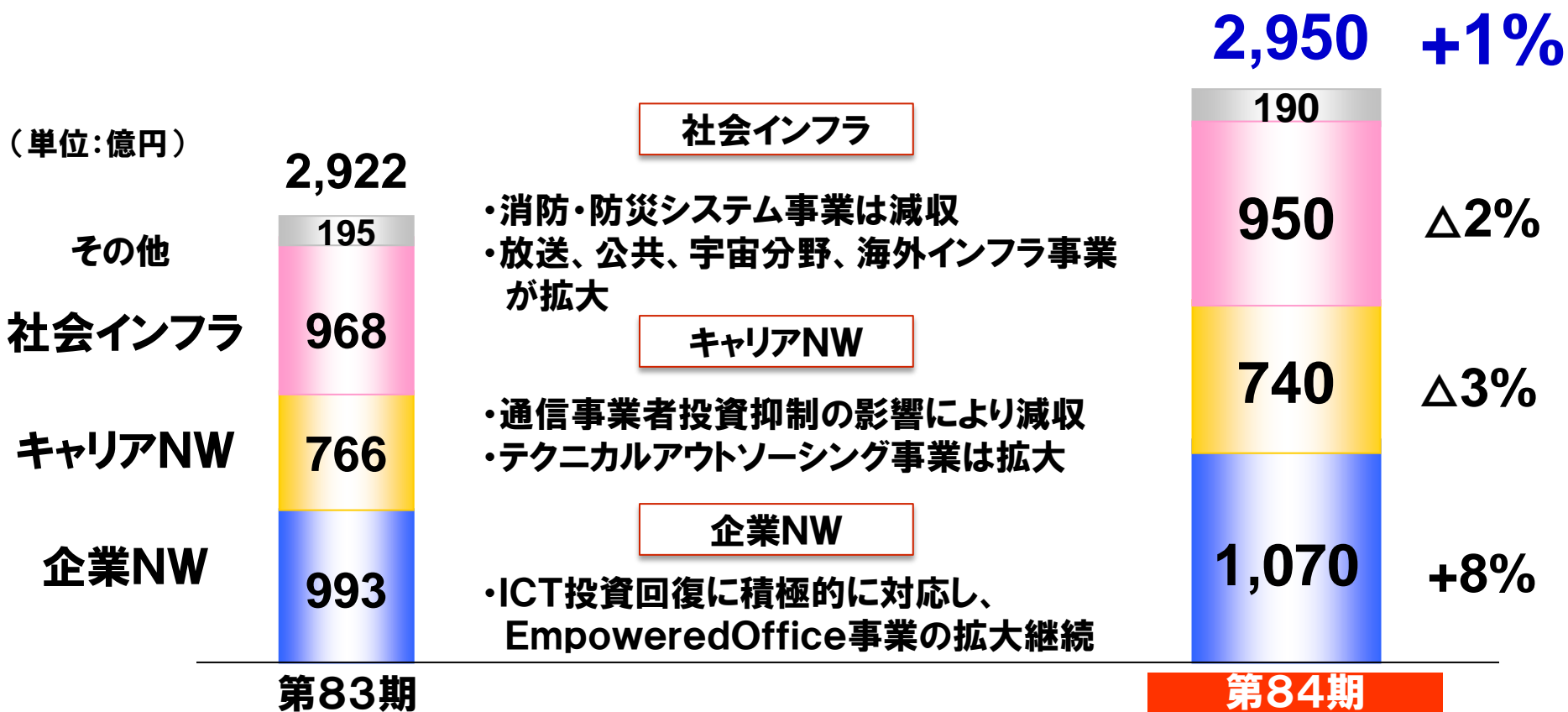
営業利益(率)

10年前の2.7倍
利益率 2倍



第84期 事業計画(セグメント別売上高)

消防無線デジタル化はピークアウト(△90)も、企業ネットワークの成長(+80)、放送・公共・宇宙分野の拡大(+40)、海外インフラ事業の拡大(+20)等により成長継続



(※予想値は、平成27年4月28日現在)

第84期の事業遂行方針

コンプライアンス最優先の事業遂行

中期経営計画の完遂

～中期経営目標から上積みした事業計画の必達

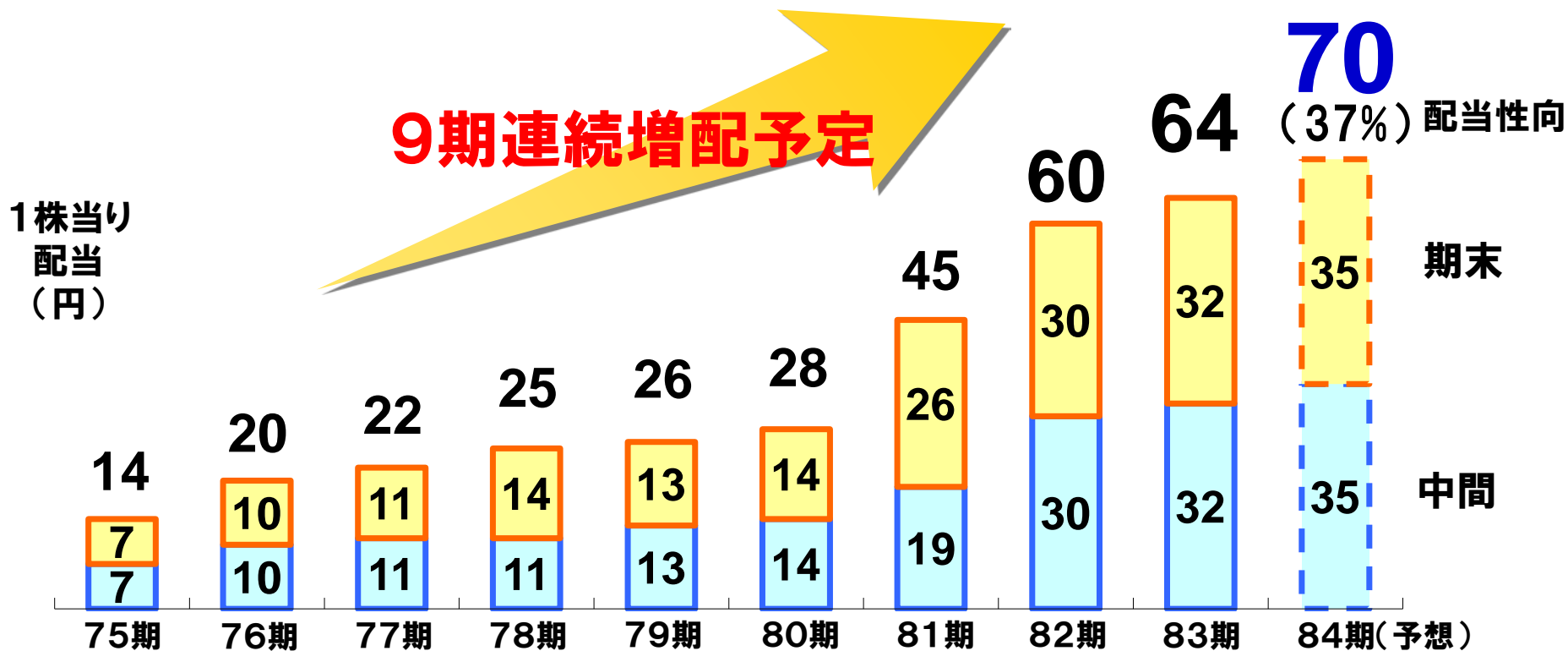
- 受注・売上高の拡大
 - ・企業向け事業の拡大、成長投資の成果刈取り
- 収益性の向上
 - ・総コスト改革の推進、SCM改革による調達、物流コスト削減 等
 - ・販売費および一般管理費の効率化

※SCM：Supply Chain Managementの略。自社内あるいは取引先等との間で受発注や在庫、販売、物流などの情報を共有し、原材料や部材、製品の流通の全体最適を図る管理の仕組み

グループ経営の強化、効率化推進

安定配当をベースに、利益拡大に伴い、株主還元を拡大

- 第84期：年間**70円**/株へ増配予定



**その他の事業報告および計算書類の
内容につきましては、お手許の
「第83期 定時株主総会 招集ご通知」に
記載のとおりでございますので、
説明は省略させていただきます。**



明日のコミュニケーションをデザインする

NEC

NEC ネットズエスアイ株式会社

www.nesic.co.jp